# にかほ市学習センター座談会

## 仁高でつなごう地域と未来〈第五弾〉

仁賀保高校内に今年5月にプレオープンし、7月8日に本格オープンした「にかほ市学習センター」。生徒の学力向上と放課後の居場所づくりを目的に開設された当センターの現在までの様子、また今後の展望などについて、にかほ市長、センター長、利用している生徒2人との座談会形式で語っていただきました。

にかほ市長 市川 雄次

にかほ市学習センター センター長 須藤 奏多

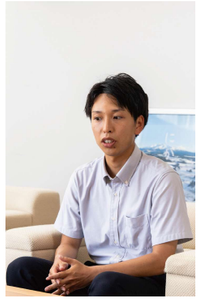
仁賀保高校1年 稲葉 政桐

仁賀保高校3年 伊藤 和真

### センター開設から現在まで

**市** 学習センター開設から現在までの様子を教えてください。

**須** はじめは探り探り戸惑いながらのスタートでした。我々もですが、生徒の方でも使っていいのか、どのように使えばいいのか戸惑っていたと思います。最初は英検対策講座を開設して、そういうのがあるなら使ってみようかなという感じの生徒が利用してくれて、そうしてセンターを使いやすい状況にしてくれたおかげで他の生徒も増えてきました。現在は少人数の生徒達が代わる代わる来て思い思いに利用しています。



**市** 最初はやはりどのような施設か分からなかった、けれど行ってみて良さが分かって使い続けている人がいるという感じですね。

**須** 生徒の中には常連のメンバーもできて、例えば部活で長時間いられないような日でも、ちょっとだけでも顔を出して、我々と少し話をしてコミュニケーションを取って帰る、そのような使い方をしている生徒もいます。センターとしてもただ場を提供するだけでなくさまざまな形でサポートしていく方法を考えていまして、6月は3年生の進学希望者向けに「模試対策講座」を実施しました。それに引き続く形で、夏休み中は塾のような形で「夏期講習」を実施しています。ただ、学習センターは民間の学習塾とは異なるものになりますので、多様な形での学習「支援」をしていく予定でいます。

**市** 勉強だけでなく、ちょっと話すために立ち寄る生徒もいるのですね。

**須** 半々ぐらいはそのような生徒達ですね。「気軽に立ち寄れる放課後の居場所」のような形でセンターが少しずつ生徒間で浸透していっていると感じます。

**市** 須藤さんの中で学習センターの目指すべき形、やりやすい形は「大人数でワイワイやる」のと「少人数でみっちりやる」のとどちらですか?

**須** 最初は「ワイワイガヤガヤ」で、そうした大人数の生徒との交流の中で生まれたふいのきっかけから生徒や我々も予想しなかったような世界につなげていく、そういうことができれば理想だと思います。

### センターを利用してみて

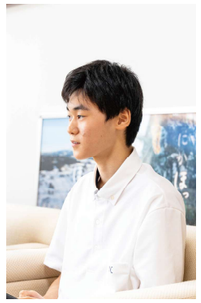
**市** 生徒のお二人は、実際にセンターを使ってみてどう感じましたか?

**伊** 自分は模試対策講座を受講しました。センターの方から分からない問題の解き方や解く順番などを教えてもらいとてもためになりました。

**稲** 自分は6月の上旬から平日はほぼ毎日利用しています。夏休み中は開所する9時から閉所する17時までずっといます。中学生の時に分からないままにしていたところを聞くために、中学校の教科書を持って行ったりしています。学習センターの方と少しずつ信頼関係を築けて、勉強の内容も少しずつ理解できているので、センターは最高の勉強場所です。

**市** 毎日利用しているのはすごいですね。稲葉さんがセンターを利用しようと思ったきっかけは?

**稲** 自分は大学進学を希望しています。受験勉強をするにあたりセンターは絶好の機会だと思いました。このチャンスを逃してはいけないと思い利用しました。



**市** 周りの反応はどうですか?

**稲** 家族はセンターを利用していることを喜んで応援してくれています。友達も一緒に来てくれて、勉強だけでなく先生たちも交えて休憩時間に雑談するのが楽しいです。

**市** センターを利用して楽しいと感じているのが伝わってきますね。多分これまで勉強のやり方、方法が分からなかったと思うけれど、何事もそうですけどやり方が分かってくると楽しいからね。須藤さん、講座での生徒の反応はどうでしたか。

**須** 話を聞く姿勢が良く、自ら色々なことを吸収していこうという積極性を感じます。少人数という良さも手伝ってだとは思いますが、非常に実りのある講座になりました。

**市** 伊藤さんは今3年生だけど、もしセンターが1・2年の時にあったら通っていましたか?もっと早くあれば良かったのにと思う?

**伊** 思います。入学してすぐに大学進学を目標にしたので、その頃にあれば絶対に通っていたと思います。

**市** 稲葉さんはセンターができると聞いてどう思いましたか?

**稲** ラッキーだと思いました。

**市** 私もあなたの立場ならラッキーだったと思う。ぜひセンターを使い倒してほしい。大学進学が全てではないけれど、大学進学によって可能性は広がりますから。

### センターの今後と展望

**市** 今のセンターは塾的な面だけでなく学習指導以外の分野でも支援していくということですが、具体的にはどのようなものを目指していますか?

**須** 特に「総合的な探究の時間での地域連携」をきっかけとして、その中でセンターでも何かできないか考えています。例えばセンター主催の小中学生向けのプログラミング教室など(下記参照)、そうした地域イベントにセンターとして教育的な要素を持たせながら高校生も交えて関わっていくというプランがあります。学習面でもそれ以外の面でも幅広い分野で、センターを使って生徒が思い思いの進路に近づけるような場を作っていきたいと我々スタッフ一同思っています。

**市** 心強いです。これからも仁賀保高校を残していく、そのためには魅力がある選ばれる高校でないといけない。そのためにさまざまな人たちと意見交換し取り組んできたことがセンターという形で結ばれました。ただ生徒の皆さんにはそのことにとらわれずセンターを最大限に活用してもらいたい。私たちはただ高校を残したいというだけではなく、仁高生の将来を思う親心でもやっているのです。生徒の頑張りがにかほ市全体に波及することを願っています。

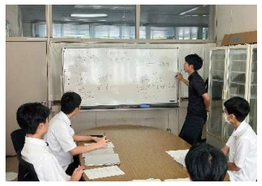
## にかほ市学習センタートピックス

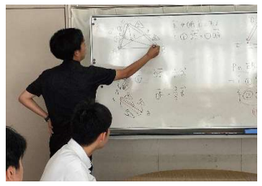
公式インスタグラムはこちらから

NIKAHO_GAKUSHU

### 1．大学進学者向け講座について

学習センターでは、大学進学を目指す高校３年生を対象に、英語と数学を中心とした講座を実施しています。６月には模試対策のワンポイント講座を、夏休み中には共通テスト対策として夏期講習を行いました。センターでの進学講座の特長として、学校の先生方と学習内容を連携させることで、授業とつながった切れ目のない支援を提供できる点があります。今後は、進学を目指す１・２年生に向けた講座や、各種資格試験の対策講座も順次展開していく予定です。





### 2．MESHイベントについて

「MESH（メッシュ）」とよばれるデバイスを使って、プログラミングを体験するイベントを８月７日に仁賀保高校で開催しました。身の回りの困ったことをテクノロジーの力で解決する体験を通してプログラミングに興味をもってもらおう、というねらいで行った本イベント。参加した児童たちは、自分たちの手でプログラムしたモノから音が出たり光が出たりする様子を大いに楽しんでいました。今後は、また別の視点からこういった小中高生連携イベントを定期的に開催できればと考えています。